

# 【家庭教育支援チーム】

## (1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	男鹿市家庭教育支援チーム
②活動拠点	男鹿市全域
③活動範囲	男鹿市全域
④組織体制	<p style="text-align: center;">11 人</p> <p>(令和3年度よりチーム員1名減による10人体制)</p>
⑤活動開始年度	平成 20 年度
⑥問合せ先	<p>(部署・氏名等)</p> <p>男鹿市教育委員会 教育総務課 生涯学習班</p> <p>(TEL)0185-24-9133 (E-mail) syougaiyakusyu@city.oga.akita.jp</p>

## (2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他( )
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以上 <p style="text-align: right;">の子どもを持つ保護者に対する活動を実施</p>

### ③活動内容

#### 【具体的な活動内容】

##### ■活動の狙い

子育て中の家庭へのきめ細かな支援をするため、子育て支援団体や学校、行政部局との連携を密にし、情報や学習機会の提供、気軽に相談できる環境づくりの充実を図り、地域における効果的な家庭教育支援の取組と普及を促進する。

##### ■活動内容

#### ○お茶っこサロンの開設

##### ・目的:

学校等へ赴き、保護者が家庭教育支援チームと話ができるスペースを設けることで家庭教育に係る相談体制の充実を図る。【年間10回程度開催】

##### ・期待できる効果:

保育園や幼稚園、小・中学校で開催される授業参観への参加や家庭教育講座の開催などで、お茶を飲みながら家庭教育や子育てに関する思いや悩みなどを気軽に話し合える。保護者との共通理解を図るとともに、ざっくばらんに話せる和やかな雰囲気をつくることで、生の声を聴きながら家庭教育に関する情報の提供と収集、気軽に相談できる体制づくりに努め、家庭教育を支える。

年度始めには地域学校協働活動推進員と共に学校訪問(啓発活動)を実施。新年度の挨拶と共に活動の周知を図り、学校や関係機関の理解や協力を得て平成30年度15回、令和元年度20回開催。



☆保育園のお祭り☆

チーム員と保護者が交流する様子

#### ○子育て元気アップ講座

##### ・目的:

保護者が家庭教育に必要な知識を身に付ける機会を提供する。各分野の講師を招き、家庭教育や子育てに関する学習機会や情報提供を行う。【年間4回】

##### ・期待できる効果:

お茶っこサロンで相談のあった悩みなど、参加者が日々抱える課題に即した内容で実施することで参加者のニーズに沿った知識の取得が期待できる。また、座学だけではなく、保



護者同士や講師との交流の機会を設けることにより、親同士の子育て仲間づくり支援や、困ったときに気軽に相談できる体制づくりにつながる。

⇒前述の講座の開催や交流機会に当たり、チームと「おがっこネウボラ※」の職員とも連携し、講演や相談、情報共有が気軽にできる関係を構築。

おがっこネウボラの職員による講座の様子

※ おがっこネウボラ・・・母子保健コーディネーターを中心としたチーム(保健師、助産師、臨床心理士等)が窓口となり、妊娠・出産・子育てなど就学児まで支援する機関

### ③活動内容

#### ○家庭教育に関する情報提供

お茶っこサロンや講座でのミニ移動図書館(家庭教育関係図書や絵本の紹介・貸し出し)、相談窓口への取り次ぎ、専門家の紹介など。

(写真は、お茶っこサロンでのミニ移動図書館の様子)



#### ○お茶っこ通信の作成・配付

年に1度、その年度の活動内容を紹介する「お茶っこ通信」を作成し、関係機関や市内の保育園や学校を通じて保護者に配付する。

#### ○報告書の作成・配付

チーム員の資質向上と他機関との情報共有を目的とし、年に1度、チームの概要や当該年度の活動をまとめた報告書を発行。市内の保育園や小・中学校、その他関係機関に配付する。

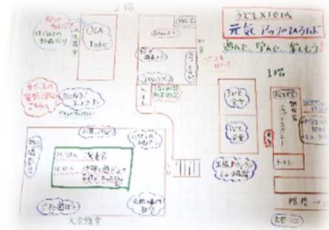
#### ○子ども×地域 元気アップひろば

チームが主催し、子育て・食・自然・音楽等、各分野で活動する地域住人・団体と連携し、子育てや地域について学べる講座や体験教室を開催。

・目的:

子どもと家庭、地域を結び、連携・協働の土台(基礎)作りを図る。あわせて、多世代が交流できる場の設定により、居場所づく

りの支援と地域ネットワークの構築を図る。(年1回)



ブースを記した案内板を作成

音楽会から始まり、「男鹿半島・大潟ジオパークガイドの体験」、地域学校協働活動推進員等による「むかし遊びコーナー」等、12種類のブースを設置。地域の公民館を貸し切り開催した。(令和元年度実績)

#### ■大人が支える！インターネットセーフティ推進事業の取組(令和元年度実績)

秋田県が、子どもたちの健全なインターネット利用環境づくりを推進するために実施。

#### サポーター養成講座



男鹿市を会場としたサポーター養成講座を開催

・目的:

男鹿市で「ネット利用の低年齢化」に対応できる人材を育成する(講座2回、実地研修1回のプログラム)

「ネットに少し詳しい大人」とし

- ・家庭教育支援チームが、地域の身近な立場として支援の幅を広げる。
- ・基礎的なインターネットの仕組みの説明や、使い方等の工夫を提案する。  
→インターネットに関する保護者の不安解消、支援を目指す。

### ③活動内容

#### 実地研修(子ども×地域元気アップひろば)

子どもが遊んでいる間に保護者が回答できる「ネット利用チェックコーナー」を各ブースに設置。回答結果をもとに、子どものネット利用に不安を抱える保護者へ、チーム員と講師が協働で相談対応にあたる。

気になる！ネットコーナー



インターネット機器に気軽に触れて楽しむ方法を地域の方々へ提案するブース

#### 親子で動画作成「OGA Tube」

チーム員による「ネットセーフティ・インストラクター」の資格

**サポーター養成講座**修了者を対象とした「ネットセーフティ・インストラクター養成講習会・認定試験」を受講し、「ネットセーフティ・インストラクター※」資格を取得したチーム員もあり、ネットセーフティに関する支援の対応に努めている。

※ ネットセーフティ・インストラクター…サポーター養成講座を通して、それぞれの居住地におけるネットセーフティ関連等の企画、運営、登壇が期待される者。

#### つながるネットワーク・広がる支援 ～子育て元気アップ講座の充実～

秋田県生涯学習センター職員による講座の様子




秋田県教育委員会との連携により、インターネットの関わり方を保護者目線で学べる機会を提供している。(サポーター養成講座を通してチーム員の知識が深まり、さらに子育て元気アップ講座でネットセーフティに関して学ぶことで、これまでの復習につながり、チーム員の資質向上も期待できる。)

### ④活動の成果 (活動実績がある場合)

#### 【お茶っこサロン】

- ・単独で開催するのではなく、放課後子ども教室や学校等の行事に組み込むことで教育現場での実施が可能となり、より多くの保護者が利用できる仕組みとなっている。
- ・お茶がうまく作用し、チーム員の雰囲気とも相まって参加者からは和やかで安心した心情がうかがえるとともに、相談から実際に橋渡しをした実績もあり、相談体制づくりに資する活動になっている。
- ・相談体制の充実のみならず、現場の現状を把握し、ニーズを探りながら適切な支援へとつながっている。
- ・学校との連携の活性化に資するとともに、保護者だけでなく行事を開催した学校側にも待ち時間の負担軽減等、相互に利益がある活動となっている。(見守り託児を含む)

	<p><b>【子育て元気アップ講座】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お茶っこサロン等で話題にあがったテーマを設定した講座では、日頃の生の声を取り入れた学習内容であるため、参加者同士の積極的な話合いや講師とのやりとりがみられた。</li> <li>・参加者からは、「リラックスしながら参加でき、気軽に話をしながら勉強ができて楽しかった。」「なかなか他のお母さんとお話する機会がないのでよかった。」との声もあり、保護者の支援の充実につなげることができている。</li> </ul> <p><b>【子ども×地域 元気アップひろば】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チーム員が企画することで地域の方々からも理解や協力を得やすい(イベント周知活動にもつながっている)。種類に富んだブースを設置することで、参加者へ体験活動の充実を図るほか、地域の方々との交流により居場所づくりのきっかけになっている。</li> <li>・令和元年度は秋田県教育委員会との協働でインターネットセキュリティ推進事業に取り組み、「子ども×地域元気アップひろば」が実地研修の機会となった。講座を通して学んだ知識を、地域の方々との相談対応の中で生かし実践することで、成果と課題が明らかになり、チームの新たな取組として活動することができている。</li> </ul> <p style="text-align: center;"></p> <p>活動の積み重ねと情報発信により、地域の身近な相談役として相談体制を確立し、保護者の居場所づくりに貢献している。</p>
<p><b>⑤活動財源</b> (複数チェック可能)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:学校・家庭・地域連携総合推進事業 )</li> <li><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名: )</li> <li><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名: )</li> <li><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</li> <li><input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</li> <li><input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ( )</li> </ul>